

「吉野川一斉清掃」に参加しました

〈四国東部農地防災事務所〉

国土交通省では、毎年7月を河川愛護月間とさだめ、河川愛護思想の普及を行っています。その愛護月間の行事のひとつとして徳島河川国道事務所の主催による「吉野川一斉清掃」が毎年開催されています。これはボランティアで参加する様々な団体が吉野川（吉野川河口～池田ダム下流）、旧吉野川（旧吉野川河口～第十樋門、今切川（今切川河口～三ツ合橋）で一斉に清掃活動を行うものです。

平成25年度の一斉清掃は7月7日（日）に行われ、当事務所から職員とその家族21名が参加し、第十樋門周辺のゴミ拾いを行いました。



河川愛護月間垂れ幕



ゴミ散乱状況



作業状況



家族でゴミ拾い

当日は平日より早い午前8時に樋門管理所に集合し、事前に徳島河川国道事務所から受け取っていた軍手とゴミ袋を配布して清掃を開始しました。堤防の法面や道路には空き缶やペットボトルが落ちており、車の窓などからの「ポイ捨て」が原因でしょうか？この日は快晴で気温も高く、汗だくになりながら必死に拾いました。

約1時間程度の作業でゴミ袋14袋分のゴミを回収しました。吉野川のきれいな水を守るために、少しは貢献できたのではないかと思います。これからも、毎年地域の一員として継続的に参加していきたいと思っています。



集合写真



作業終了

吉野川沿いに捨てられたごみを拾う
参加者 石井町藍畑の第十堰

【紙面編集】 斎藤智也

吉野川 那賀川 流域住民ら8300人清掃

7月の河川愛護月間に合わせ、吉野川、那賀川両流域で7日、地域住民ら計8300人が一斉清掃に汗を流した。

旧吉野川、今切川を含む吉野川流域の清掃には、ボランティア団体や企業など計134団体約6500人が参加した。

自然保護活動に取り組みNPO法人ウィ・ライク・リバー徳島（北島町）のメンバーら17人は石井町藍畑の第十堰近くを清掃。ビニール袋を手約1時間掛け、ペットボトルや空き缶などを丁寧に拾い集めた。

那賀川と桑野川では、阿南市の市民団体や民間企業など約50団体約1800人が、15カ所に分かれて一斉に作業した。

下大野町の那賀川沿いを清掃したのは、県建設業協会阿南支部の約90人。堤防沿いに捨てられたペットボトルやビニール袋などを拾った。

活動は国土交通省が呼び掛け。吉野川流域で4ノトトラック22台分、那賀川流域では軽トラック10台分が集まり、分別処理した。

（大野真味、藤川佳宏）

那賀川の堤防を清掃する参加者
阿南市下大野町

7/8 徳島新聞朝刊 16面に記事掲載